

## はじめに



本市では、平成 24 年（2012 年）3 月に「宝塚市地域福祉計画（第 2 期）」を策定し、「すべての人が互いを認め合い、支え合い、共に輝きつづける 安心と活力のまち 宝塚」を基本理念に、地域住民の皆様、市民活動団体、関係機関などと連携をとりながら、地域福祉の推進に取り組んでまいりました。

この間、自治会や民生委員・児童委員を中心とした身近な地域での見守り活動、まちづくり協議会等による地域内の課題解決を図る場づくりなど、様々な活動が積み重ねられてきた一方で、社会情勢や家族形態の変化、高齢化や人口減少が進み、地域を取り巻く状況も変化し、これまでの福祉サービスでは解決できない複合的な問題や制度の狭間にある問題なども生じてきています。

国においては、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」、「受け手」という関係を超越して、地域住民や多様な主体が「我が事」として参画し、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティをつくるという「地域共生社会」の実現が提唱されています。また、本市においても、あらゆる世代が、お互いの存在を認め合い、支え合い、将来につながる地域社会を創造することを目指して、お互いさまのまちづくり（エイジフレンドリーシティ）の取組が始まっています。

このような中、これまでの計画の方向性を継承しつつ、多様化・複雑化する地域課題や新たな社会問題に対応していくために、地域福祉計画（第 2 期）を見直すこととしました。計画を見直すにあたり、市民、地域福祉活動者、関係機関・団体の皆様からご意見を伺う中で、本市固有の福祉課題も明らかになってまいりました。その課題の解決を図っていくために、「多文化・共生型の地域づくり」、「包括的な支援体制づくり」を計画の基本目標として定め、取り組んでいくこととしています。

すべての人がその人らしく、地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現に向けて、市民、行政、関係機関・団体などが協働で取組を進めていく必要があります。今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見・ご提言をいただきました、宝塚市社会福祉審議会の皆様をはじめ、アンケート調査やワーキング会議、パブリック・コメントなどにご協力いただきました市民の皆様、関係機関・団体の皆様に心から感謝申し上げます。

平成 31 年（2019 年）3 月

宝塚市長

中川 智子

## 目 次

第1章 地域福祉計画の策定にあたって .....	1
1. 地域福祉計画とは .....	1
2. 計画策定の背景と趣旨 .....	2
3. 計画の位置づけ .....	3
4. 計画の期間 .....	4
5. 計画の策定体制 .....	5
第2章 地域福祉を取り巻く現状と課題 .....	8
1. 人口と世帯等の状況 .....	8
2. 地域における団体等の活動の状況 .....	14
3. 地域における社会問題の状況 .....	18
4. 市民の意識（市民アンケート調査結果の概要） .....	21
5. 活動者の意識（福祉活動者調査結果の概要） .....	24
6. 改訂ワーキング会議における意見 .....	26
7. 専門職ヒアリングにおける意見 .....	28
8. 現行計画（宝塚市地域福祉計画（第2期））の総括・評価 .....	31
9. 地域福祉に関する課題と方向 .....	33
第3章 めざす方向 .....	37
1. 基本理念 .....	37
2. 計画推進の基本的な視点 .....	38
3. 基本目標 .....	42
4. 施策体系 .....	43
第4章 地域福祉施策の展開 .....	44
1. 福祉教育の充実 .....	44
2. 多様な居場所・拠点づくり .....	46
3. 誰もが活躍できる機会づくり .....	48
4. 次世代の育成と子育て支援 .....	50
5. 見守り・支え合いの促進 .....	52
6. 総合相談支援体制の構築・強化 .....	54
7. 課題解決に向けた多様な主体のつながりの構築・強化 .....	58
8. 権利擁護支援の強化 .....	60
第5章 計画の推進 .....	62
1. 計画の推進体制 .....	62
2. 本計画における重点的な取組 .....	63
資料編 .....	65